

神流地区地域づくり協議会（モデル事業）

神流地区の魅力と課題を見つめ直し、“人と人とのつながり”をつくるための取組みを考える
「こんな地区にしたい」「こんなまちに暮らしたい」という将来像をイメージする

◆第2回から第4回までの振り返り

＜第2回の意見交換の意見＞

- 一人暮らしの高齢者が増え家族の単位が小さくなっている
- 地域活動をしたいでも一人では動き出せない現状があると
- 若い世代に対するケアは十分であろうか
- 遊休地の草木などを退治したいがマンパワーが足りない
 - 横のつながりをつくって連携できると良い
 - 企業と地域の農業関係者との連携がしていけるとよい
 - 公民館がボランティアの人材バンクになりサークルと学校が繋がっていく
 - ヤリタナゴを守る＝環境を守る。そのために地域が協力してやってきた
 - 救命講習やスポーツ観戦を公民館でやれば人が集まる機会になる
 - 洋ランの切り花では全国トップクラス



＜第3回のグループワーク意見＞

地域の課題
- 人が集まる場所や場面が少ない - 地域で実施している活動がわからない - ゴミ捨てのルールが守られない - 独り暮らしの高齢者が多い
理想の将来像
- 地域資源を活用したイベント開催 - 家族が支え合う仕組みづくり - 地域と企業の連携で地域を元気に - 地域の人が集まり顔を合わせる場所

解決のための具体策
- 昔から伝わる地域行事(祭りなど)の復活 - 学校(小中高)のクラブ活動プレゼン会 - 環境水路を通年通水にする - 地域づくりセンターや学校を集まる場所に - SNS、新聞などによる地域情報の発信 - 環境水路を子どもの遊び場にする - ボランティアの連絡文をつくる - 高齢者支援のための話し合いの場 - 花壇作りや野菜作り - 地域づくりセンターの土日開館 - ボランティアの繋がりをつくる - キャンプ場、フットサル場などの施設 - スポーツイベントやハイキングの開催 - イベント時にはバスをチャーターする - 若い人を呼び込む保育所 - イベント時にはバスをチャーターする - 公民館へのサロンの設置 - 街灯を増やす - バザーや地域の特産品で儲ける - 地域美化の取り組み

＜第4回のグループワーク意見＞

交流の場(機会)が大切、みんなでアイデアを出して楽しく、情報発信に力をいれる	
愛称をつける	公民館だよりや小中学校から公民館の愛称を募集する
交流・あいさつ	子どもも大人も挨拶する、SNSを勉強する場から交流へ、女性ならではの話を共有できる女性サロン、昔の遊びで世代間交流、公民館・学校・空き家などを交流の場として有効活用、公民館の土日開放、空き家カフェをつくる、街角ミニコンサート、SNSを使って活動紹介、ホームページを作成、若い人が集まりやすい場所や機会を学校の体育館で、日本肥糧による講習会
楽しい	誰でもいつでも寄れる公民館、公民館を土日開放、小さいカフェや図書館、学習ルーム、オセロやトランプを置く、若者からシニアまで楽しめる公園（BBQ、ドッグラン、プール、ブランコ、滑り台、散歩コース、バリアフリー）、小学校で軽スポーツ祭、ラジオ体操、ぐんぐん体操、コミュニティサロンの設置
世代間イベント	環境水路を活かした子どもの遊び場作り、公民館で地域産品のPRイベント、北高校と連携した花壇作り、定期的に親子体操、映画鑑賞会、子どもカフェ、地域対抗運動会など他地区と連携、夏休みに学生勉強会（大学生や高校生が小中学生に指導）、子ども食堂、一緒に料理、小さなイベントから、住民からアイデア募集、日本肥糧の工場見学、めぐるんバスを活用して写真俳句会を開催
ボランティア 地域の支え合い	ボランティアに活かせる特技をもつ人を探す、指導者になってもらう、地域全体で通学路の草刈りや点検をする、当番制で美化活動、地域づくりセンターでボランティアのマッチングをする、防犯マップづくり、一人暮らし高齢者の把握、高齢者への声掛け、独り暮らしのお年寄りを子どもの行事に招待、支え合い協議体と連携し草刈り作業の援助
情報	年代に合わせた情報発信の仕方がある、ゴミの分別ルールをポスターにしたり見守り指導する、SNSを活用するための説明体制づくり、休耕農地マップで家の近くの休耕農地がわかる(SUMOみだいな、地域特産品での商品開発とPR、芸能人を通じた情報発信、電子媒体による発信、日本肥糧の土壌改良材の栽培試験
医療	困っていることの把握、病院関係者の講演、妊娠出産のサポートのための講演、男性向けの講座
スポーツ	マイナースポーツや軽スポーツ、地域の人々が小学校運動会に一部参加、いろんなスポーツや遊びをしても迷惑にならない場所をつくる、多くの人が触れ合える競技、指導者を地域で見つける
防災	SNSを活用して防災情報を発信、避難場所の周知をする

◆第5回の『神流地域づくり協議会（モデル事業）』を開催します

令和5年1月19日（木） 18：30～

第4回となる今回の会議はモデル事業の最終回の予定です。

来年度の本格的なスタートに向けて、どのような組織であると活発に円滑に進めることが出来るか、こういった人が委員であるとよいかなどを話し合しましょう。

地域づくり協議会（モデル事業） 令和4年度の流れ

神流地域づくり協議会（委員21人）

第1回	7月21日（木）18:30～19:30
会議内容	①地域づくり協議会と地域づくりセンターについて ②地域づくり協議会の人選について
第2回	9月28日（水）19:00～20:50 110分
テーマ	「地域づくり協議会に関する勉強会」「こんな神流地区に暮らしたい」
会議内容	①「地域づくり協議会」及び「地域づくりセンター」について（地域づくり課説明） ②「地域づくり協議会事業に向けて」（熊倉教授解説） ③「こんな神流地区に暮らしたい」（委員から発言：懇話会形式）
キーワード	令和5年度から「公民館」を「地域づくりセンター」に移行し、「地域づくり協議会」を設立することについて説明。委員から地区内での現状や課題、希望等について意見を出し合った。 様々な人の公民館の利用促進、人が集まる場、ヤリタナゴ保護・環境保全、ボランティアの人材バンク、道路が狭い、ラン・ナス・いちごの生産
第3回	10月27日（木）18:30～20:00 90分
テーマ	地域の魅力や課題にどんなものがあるか見える化し考える
会議内容	①第2回の振り返り ②藤岡北高校の活動発表 ③グループワーク（10～11人×2）「地域の魅力や課題を探る」 ④グループワーク発表
キーワード	神流地区の中で人と人とのつながりをつくっていくためにどんな取り組みが必要か。地区内で考えられる課題、それに対し理想の将来像、そのために必要な取組み(解決策)について意見を出し合う。 付箋（赤-課題、青-理想像、黄-解決策）に考えを書き出し、順番に模造紙に貼っていき意見の共有、グルーピングを行った。
第4回	12月13日（火）18:00～19:30 90分
テーマ	地域の課題を解決する方法を具体化する。
会議内容	①第2回、第3回の振り返り ②グループワーク（5～7人×3）「課題解決のためにできることを考える」 ③グループワーク発表
キーワード	課題解決策を具体的にするためのグループワークを実施。自分が取り組みたいと思う事3つを紙に書き出しその紙を隣の人に回していき、ひとりずつ自分なりの意見を書き込み共有しながら具体化していく。グループ内で取り組みたい内容を相談していくつか絞り込みまとめた。
第5回	1月19日（木）18:30～
テーマ	「令和5年度に向けた体制づくりを確認しよう」 地域づくり協議会がどんな組織であればよいか考える。
会議内容	①第2回～第4回の振り返り ②令和4年度モデル事業のまとめ ③令和5年度からの協議会の組織やメンバー等
キーワード	令和5年度から本格スタートするにあたり、第1回から第3階までの意見を踏まえて協議会の進め方や体制、人選などについて考える。
備考	